

2023年6月2日

各 位

H.U.グループホールディングス株式会社

「医療・ヘルスケア領域への神経由来細胞外小胞の利活用に向けた技術開発」  
を目的とした H.U.グループ中央研究所と田辺三菱製薬との  
戦略的アライアンスについて

当社の連結子会社である合同会社 H.U.グループ中央研究所（職務執行者：小見和也、所在地：東京都あきる野市、以下「H.U.中央研究所」）は、このたび、神経由来細胞外小胞（Extracellular Vesicles、以下「EVs」）の利活用による次世代医療関連技術開発に向け、田辺三菱製薬株式会社（代表取締役：辻村明広、本社：大阪府大阪市、以下「田辺三菱製薬」）と戦略的パートナーシップ契約を締結しましたのでお知らせします。

EVs は、がんや難治性疾患における臨床検査において、次世代低侵襲性検査手法と期待されるリキッドバイオプシーの重要なターゲットとしてだけでなく、疾患治療の新規モダリティとしても注目が高まっており、医療・ヘルスケア領域において広範な活用が期待されています。

H.U.中央研究所では、これまで EVs を対象とした研究開発を進め、EVs 関連独自基盤技術「EViSTEP®」の開発に至っております。「EViSTEP®」は複数の独自技術に基づく EVs の回収・解析を中心とした技術プラットフォームです。H.U.中央研究所は「EViSTEP®」に加え、EVs 関連ノウハウを協業パートナーとの連携においても活用することで、多角的に EVs の医療・ヘルスケア領域における価値創出をめざしています。

本戦略的提携は、医療・ヘルスケア領域への神経由来 EVs の臨床的意義の解明と将来的な創薬及び臨床検査での利活用できる技術開発を目標に実施します。当社は、本契約の締結に伴い、契約一時金を受領します。

今回、臨床検査領域で **No.1, Only one** をキーワードに技術開発を進める H.U.中央研究所と、三菱ケミカルグループのヘルスケア事業の中核会社として、中枢神経・免疫炎症領域を中心に、有効性・安全性が高い患者層を見出し、治療満足度の高い薬剤を提供する「プレジジョンメディシン」に取り組む田辺三菱製薬とが、戦略的な協業を実施することで、新たな価値創造をめざします。

以上

**【本件に関してのお問い合わせ先】**

広報/サステナビリティ部 広報課

TEL : 03-6279-0884

e-mail : pr@hugp.com